



Art in Wonderland

魔法の美術館

2023.7.22(土) — 9.24(日) 会期中無休

光と遊ぶ超体験型ミュージアム

Play with Light in the Ultra-interactive Museum

【開館時間】9時～17時(全場日は20時まで開館)
※入場は開館30分前まで ※7月22日は10時開館
 ※開館時間中に変更が生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

【入場料】一般1,400(1,200)円 高・大学生1,000(800)円 小・中学生700(500)円
※()内: 賛助・20名以上の団体料金 ※幼児等は、広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード:100-054)、ローソンチケット(コード: 81650)、チケットぴあ(コード: 895-430)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・観劇会、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広域部、中国新聞名産部(取寄費)などで販売しています。 ※学生等をご購入・ご利用の際は、学生証のご提示をお願いします。 ※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者福祉手帳及び障害者手帳の所持者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。 ※全席中、本場チケットのご提示(半席)により、100円で観覧額にご入館いただけます。

【主催】広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、中国新聞社 **【後援】**中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、エフエムふくやま、尾道エフエム放送 **【企画協力】**ステップ・イースト **【協賛】**大田興産、広島県信用金庫、一般財団法人ケンシン地域振興財団

(左上から) © 沼崎やすし/山野真吾/徳井太郎 (SplashDisplay) © yasushi MATOBA/shingo YAMANO/taro TOKUI © 藤本直明 (色のある夢)
 © naoki FUJIMOTO © スイッチ (なげる、あてる、ひろがる) © Switch 協力: 名古屋造形大学 情報表現領域 © Ponboks (本多大和) (ユビサキに笑う) © Ponboks (yamato HONDA) ※展示作品、作品の内容は変更となる場合があります。

広島県立美術館
 Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上横町2-22
 TEL: 082-221-5246 FAX: 082-223-1444
<https://www.jpam.jp/>

ワンコイン 観覧券

PHOTO VIDEO SNS OK!

広島県立美術館

【開催趣旨】

この夏、美術館が魔法に包まれる！

一歩足を踏み入れると、そこは不思議な光とアートの世界。あなた自身の動きに合わせて様々な表情を変える作品と出会い、まるで自分が魔法使いになったかのような体験ができます。子どもから大人まで直感的に楽しめる作品、最新作を含む16点は、ほとんどが県内初公開です。心躍る作品の数々が、会場であなただけをお待ちしています。

※展示作品、作品の内容は変更となる場合があります。



【作品解説】

坪倉輝明《七色小道》

あなたの足元から色と光のアートが広がる

一見ただの通路のように見えても、人がその上を歩く事で人の周りから様々な色や光が溢れ出して他の人が出す色と混ざり合っていく。ただ歩くという行為が無意識の内にお互いに影響を与え合い、その結果が1つのアートになっていく参加型のメディアインスタレーション。また、時間の経過によって形を変えながら消えていく為、同じ絵は二度と見ることが出来ない。



© teruaki TSUBOKURA

Ponboks(本多大和)《ユビサキに咲く》

指先から花を咲かせて

壁面に手をかざして動かすと、万華鏡のように多面的に複数の花びらが描かれ、どのように手を動かしても花の形が生まれます。誰の指先にも可能性の花が咲く。咲いた花が集まってできた場所はどこな景色をしているのでしょうか？少しずつ広がり、色合いを変えていく花畑に、そんな想像を重ねて制作した参加型インタラクティブ作品です。



岡田憲一+冷水久仁江 (LENS)《イロテット》

オブジェを置くと生まれるカラフルな風景

回転するテーブルに置かれたオブジェクトが光に照らされることによって、色鮮やかなシルエットが浮かび上がります。オブジェクトを自由に置き換えることで、無限に変化していく風景が映し出されます。



© kenichi OKADA+kunie HIYAMIZU (LENS)



© naoaki FUJIMOTO

藤本直明《Immersive Shadow: Bubbles》 弾むボールに影で触ってみて

体験者の影が壁面に大きく映し出され、その影と壁面の映像が影響しあうインタラクティブな映像インスタレーション作品。巨大な映像に対して体験者の影を通して没入することで、身体感覚の増幅を体験できます。



© Ponboks (yamato HONDA)

Ponboks(本多大和)《kotonoha》 声から生まれた「言葉」が自由に動き出す

声から形になった「言葉」がひとりでに歩きはじめ、広場を自由に動きまわります。言葉に話し手の感情や人間性が表れる様子を、まるで言葉自体に意思が宿っているように感じたことをきっかけに制作した参加型インタラクティブ作品です。家に帰ってから思い出したり、ほかの人に伝えたり、心にずっと残っていたり、言葉は一人歩きをはじめ、ときに花のように優しく寄り添い、ときに獣のように牙をむき、ときに鳥のようにたくさんの人のもとへ広がっていきます。



© naoaki FUJIMOTO

藤本直明《色のある夢》 自分が七色の影に

作品の中に入ると、あなたの姿が分身し、七色の影となって現れます。影の重なりと時間の経過によって次々と影の色が変化します。空間の中で自由に動いてみましょう。



© teruaki TSUBOKURA

坪倉輝明《幻想シアター》 劇場に立つと、幻の生き物に変身

幻の生き物達が登場する劇場「幻想シアター」。舞台に立つと、あなたは劇場の役者として伝説上の生き物に変身し、自由に物語を演じることができます。時に天使に、そして悪魔に。この作品は仮想体験を楽しむ作品です。



© takayuki WATANABE (Kitasenu Design)

渡邊敬之(北千住デザイン)

《SUPER SLIT-SCAN》

時空が歪んだような不思議な世界へ

自身の姿が作品の中に入り込むと、時空が歪んだように次々と不思議な変化を見せます。これらはスリットスキャン(Slit-scan)と呼ばれる映像技法で、本作はその仕組みをテーマにしています。この魔法のような効果がどのようになっているか、体験しながら考えてみてください。

藤本直明 《淡彩の魚たち》

床面には色とりどりの半透明の魚が泳いでいます。体験者が床面を歩くと、魚が近付き、重なり合った魚の色が変化していきます。

※新作のため、仕様が変更になる場合があります。



© taro TOKUI / yudai SHIMIZU

徳井太郎 / 清水雄大《Shadow+》

あなたの影が彩られて幻想的なアートに

自分の影の中に様々な模様が現れ、鮮やかな色で彩られます。雪が舞う幻想的なシーンなど、場面は次々と移り変わり、非現実的な空間にいるような不思議な感覚を楽しめます。



© Ponboks (yamato HONDA)

Ponboks(本多大和)《ミルアンサンプル》

みんなの手から生まれた音が合奏に

壁面に手をかざすと音が鳴り、その場に居合わせたほかの人と一緒に合奏を楽しめます。複数人で演奏することを「合奏」や「重奏」といいますが、この作品では音とともに視覚表現も重なって変化します。奏者となって様々な音と出会い、音と音を重ねて見ることでできる参加型インタラクティブ作品です。

坪倉輝明《展覧会の絵》

生きた名画の主演はあなた

一見普通の絵画のように見えますが、絵画の前に立つと絵画の中にあなたが登場します。絵画の中の人と同じ衣装で同じポーズを取ったり、絵の中の物に触れたり、今まで鑑賞するだけだった絵画鑑賞を来場者が絵画の一部となって作品を完成させる事ができる参加型の絵画展示です。



© teruaki TSUBOKURA

的場やすし / 山野真吾 / 徳井太郎《SplashDisplay》

舞い上がる光の粒



© yasushi MATOBA / shingo YAMANO / taro TOKUI

SplashDisplayは爆発するディスプレイです。網の目のテーブル上に敷き詰めた、白く小さなビーズが色鮮やかに光り出します。その中に動き回る的が現れ、鑑賞者はそれを狙って玉を投げ、玉が的中すると爆発が生じます。ディスプレイが爆発する不思議な感覚を体験してください。

Ponboks(本多大和)《メイト》

あなたと一緒に動き楽しむ仲間たち



© Ponboks (yamato HONDA)

とんがり頭のメイト(仲間)たちと一緒に楽しむ参加型インタラクティブ作品。好きな色の上に立つと、同じ色のメイトが登場して体験者のマネをしながら動いてくれます。何かのきっかけで友人が増えたり、いつのまにか疎遠になっていたり、仲間の輪は広がり、狭まり、重なり、変化してつながっていく。そんな人と人のコミュニティ構造をモチーフにした作品です。



© Switch 協力:名古屋造形大学 情報表現領域

スイッチ《なげる、あてる、ひろがる》 ボールで花火を打ち上げよう

ボールを投げる事でインタラク션을起こす作品です。遊び方はボールを壁に投げるという事だけ、ボールの当たった場所に音と映像がマッピングされひろがります。体験者はボールを投げるという単純な行為で起こる音と映像による事象から、投げ方や投げる場所を変えてみたりと遊び方を工夫しはじめます。ゲームのように目的がある訳ではないのに不思議とボールを投げたくなります。

岡田憲一+冷水久仁江(LENS)《TRANSFORM》 箱の中の世界へ飛び込もう



© kenichi OKADA+kunie HIYAMIZU (LENS)

椅子に座ると顔が撮影され、架空の世界の住人に変身します。変身した体は箱の中の世界に転送され、空を飛んだり、水中を泳いだり、コミカルに踊ったり...トランスフォームの物語の一部になって動き出します。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用は御遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。御了承ください。

※画像については提供が可能です。画像掲載の際には、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館まで提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

【関連イベント】

■キッズモニター募集！

光とアートの世界を体験し、美術館のインスタライブにも出演しませんか？

日 時：7月24日(月)16:00～17:30(インスタライブへの出演は17:00～)

定 員：10組(小学生以下。同伴は保護者2名まで、および兄弟姉妹)

※要事前申込(当館082-221-6246)

※定員になり次第、募集は締め切ります。

※ご招待企画です。当日、美術館職員およびメディアが撮影した画像・映像を展覧会広報に使用させていただきます。

■あつまれ！魔法使いの日

会期中の毎週月曜日、魔法使いの装いでご来場いただいた先着10名様に、展覧会オリジナル缶バッジをプレゼントします。3階受付にてお申し出ください。

※ステッキ状のものは、展示室では鞆の中にしまってくださいようお願いします。

■魔法の美術館フォトコンテスト

会期中、会場で撮影した写真や動画に「#広島県立美術館」「#魔法の美術館フォトコンテスト」をつけてInstagramに投稿された方の中から、5組10名様に次回展覧会「おいしいボタニカル・アート」展の招待券をプレゼント！

【ワンコイン縮景園(縮景園連携)】

本展入館券の御提示により、100円で縮景園に御入園いただけます。

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

本展会期中、広島市現代美術館、ひろしま美術館で開催中の特別展チケット(半券可)をご提示いただくと、当日料金より100円引きでご鑑賞いただけます。詳しくは各館にお問い合わせください。

※1枚1名様限り

※その他の割引との併用はできません。

【開催概要】

メインタイトル：魔法の美術館 光と遊ぶ超体験型ミュージアム

英語名：Art in Wonderland: Play with Light in the Ultra-interactive Museum

会 期：令和5年7月22日(土)～9月24日(日) 会期中無休

開館時間：9:00～17:00(金曜日は20:00まで開館)

※入場は閉館の30分前まで ※7月22日は10:00開場

料 金：一般 1,400円 高・大学生1,000円 小・中学生700円

※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

※前売券は広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード:100-054)、ローソンチケット(Lコード:61650)、チケットぴあ(Pコード:686-430)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。

※学生券を購入・入場の際は学生証の提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳を提示してください。

開催クレジット

主 催：広島県立美術館／広島ホームテレビ／イズミテクノ／中国新聞社

後 援：中国放送／広島テレビ／テレビ新広島／エフエムふくやま／尾道エフエム放送

企画協力：ステップ・イースト

協 賛：大田鋼管／広島県信用組合／一般財団法人ケンシン地域振興財団

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 森 万由子

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる

来館の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行っています。御理解と御協力をお願いします。

- ・発熱等の症状がある場合は、軽症であっても入館を御遠慮いただくようお願いします。
- ・手指のアルコール消毒、咳エチケットの徹底をお願いします。
- ・人と人が触れ合わない程度の間隔を確保するようお願いします。来館者が多い場合は、入場制限を行うことがあります。

※なお、マスクの着用は個人の判断が基本となります。

このため、一部のスタッフはマスクを着用することに御理解ください。

